

ガバナー就任ご挨拶

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



今年度当地区ガバナーを拝命致しました、福家 宏です。よろしく願い致します。

第2660地区は伝統と業績を誇る素晴らしい地区であります。この地区のガバナーに就任することは大変光栄なことであり、責任も重大であると考えております。

私は地区ガバナーになるために、国内で実施される2回のガバナー・エレクト研修セミナー(2012年9月、同年11月)を受け、さらに今年1月米国サンディエゴで開催された国際協議会での研修を受けて参りました。これと同様に会長エレクトの皆様にはクラブ会長になるためにはPETSの受講義務があります。このような研修を経て、地区やクラブのリーダーはロータリアンとともに新しい年度を迎えることになります。

さて今年度のRI会長はオクラホマ州ノーマンRCのロン・D・バートン氏です。職業は弁護士で、地区ガバナーは無論のことRIやロータリー財団のリーダーとして様々の要職を歴任して来られました。

ロン・D・バートン氏は国際協議会の初日、テーマ講演の中で私たちに多くのことを熱く語られました。そして今年度RIテーマを発表されました。皆様すでにご承知の通りそれは「Engage Rotary Change Lives」であります。日本語では「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」と訳されています。

ロン・D・バートン氏は講演の中で「ロータリーを実践することにより」「人々の人生を豊かに」Change their lives!! と言われましたが、同時に「あなた自身の人生も豊かに」Change your lives!! と述べておられます。それを基に私は次年度の地区方針を「感動の体験を!! 人々にも、自身にも」と致しました。さらに私はParticipate「参加し、敢行しよう!!」という言葉添え

ました。この言葉は実は日本人初のRI会長東ヶ崎潔氏のRIのテーマそのものです。私はこの言葉を心に刻み、この言葉を拝借して、地区方針に盛り込みたいと考えました。

さて地区としては何にポイントを置いて活動を進めて行くのか?ロン・D・バートン会長がRI戦略計画に基づくRI方針を述べられましたので、私も同様にこれに基づき次の5項目をご提案し、皆様にはこの5項目に力点を置いてご活動頂きたいと考えております。

- ①会員の維持と増強(クラブのサポートと強化)
- ②ポリオの撲滅への努力(人道奉仕の重点化と増加)
- ③FVPによるプロジェクトの成功
(人道奉仕の重点化と増加)
- ④東日本震災復興支援(人道奉仕の重点化と増加)
- ⑤広報活動(公共イメージと認知度の向上)

会員の維持・増強については高島直前ガバナーは「プロジェクト3900」というスローガンのもと、当地区会員数を何とか3900人にしようと説いて来られました。また昨年度RI会長田中作次氏のお名前を拝借したSAKUJI作戦もスタートしております。この作戦は、地域や地区を超えてロータリアンに相応しい人物を承知しているロータリアンは、自クラブの会員には迎えられないけれども、他地域、他地区に紹介して日本全体のロータリアンの数を増やそうと言うものです。クラブや地区の会員数が減ってしまえば、折角の奉仕活動に支障をきたしてしまい、全体として活性が失われて行くことになります。他の人や増強委員に任せるのではなく、今すぐあなたご自身が新会員獲得のために動き始めて頂きたいのです。そして高島直前ガバナーのスロー

ガンを引き継ぎ、私も申し上げます。地区の会員数を3900人に、クラブの会員数は6%純増を目標として、努力致しましょう。

ポリオは撲滅まであと一歩のところまで来ています。GPEI (Global Polio Eradication Initiative…RI+WHO+UNICEF+CDCにより構成)は現在ポリオ撲滅のために必要とする予算を21億9000万ドルとしています。集まっている資金は12億4500万ドルで、9億4500万ドルものギャップがあります。

このギャップを何とか埋めなければなりません。皆様のご協力とご理解をお願い申し上げます。

FVPや東日本震災復興支援は、従来とは異なった形のプロジェクトが求められることとなります。遠く離れたクラブ間の連絡を密にし、ニーズ調査に力を注いで良いプロジェクトを立ち上げて下さるよう、お願い致します。

公共イメージ向上のため、貴クラブの奉仕活動は出来る限り地区広報委員会にご報告下さい。また地区のホームページも利用しやすいものになる等があります。それによりクラブの奉仕活動を地区全体に広報することもしやすくなると思います。公共イメージの向上は、クラブの強化に繋がります。どうぞよろしくお願い致します。

ガバナープロフィール



国際ロータリー第2660地区 ガバナー
福家 宏 (ふけ ひろし)

[生年月日] 1943年1月1日

[勤務先] 医療法人 福家医院

[所在地] 〒581-0831 八尾市山本町北4-5-13

[経歴] 1972年 大阪市立大学医学部卒業
1972年 大阪市立大学医学部附属病院・大阪市立桃山市民病院他
1987年 福家医院開業 現在に至る

[職業分類] 小児科医

[ロータリー歴] 1985年 八尾東ロータリークラブ入会
1991年 八尾東ロータリークラブ退会(業務多忙のため)
1995年 八尾中央ロータリークラブ入会
1998~1999年度 幹事
2007~2008年度 会長

[R I 第2660地区] 2000~2002年度 ポリオプラス委員
2002~2003年度 財団法人道的補助金委員会委員
2004~2005年度 財団法人道的補助金委員会委員
2005~2007年度 財団法人道的補助金委員会委員長
2008~2009年度 ロータリー財団副委員長
2009~2012年度 ロータリー財団委員長
2010~2012年度 財団FVP委員会委員長
2011~2013年度 災害支援プロジェクト副委員長

[その他] ロータリー財団メジャードナー
ロータリー財団ベネファクター
ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者(マルチプル)